

2001/05/30

2001 年 5 月 29 日 日本テレビ 定例社長会見 要旨》

質問：テレビ朝日 ダイオキシン判決の感想を。

氏家社長：

重要な判決だと思う。表現の自由を認める判決だと思う。一方、我々の中でも反省する点がいっぱいあってね、口をすっぱくして言っているんだけど、行き過ぎがあつてはいかんとか、そういう点でね、報道のマナーっていうかな、自由とかそんな堅苦しいことは言わないで、マナーという点でもうすこしきちんとしたところがあつてもいいかなと。そういう点は、今後とも我々が折りに触れて反省しておかないと。

だから、あの裁判からもうひとつ、表現の自由が守られてよかったんだが、一方では、今申し上げたような反省点は、肝に命じて我々マスコミ人は持っていなくては行けないな、と痛感しました。

質問：人権擁護推進委員会の方針が出まして、メディアによる人権侵害というものが上がっております。放送機関としてこのケースをどのようにご覧になっていますか？

氏家社長：

これはね、我々も反対なんです。確かにね、さっき言ったようなマナーを逸脱したようなことはね、あつてはならない。これは、社会の常識ですからね。しかし「おまえはマナー守らないから、処罰する」ということは許されない。わかりますか、その比喻が？

ただ、先ほどから申し上げているように、マナーというのは、自分で厳格に反省してやってくるものであってね、そういう点では、我々は自己責任で、自信もあるし、責任も痛感している。

質問：メディア規制の現状確認と対応について。

氏家社長：

小泉政権は基本的にね、小泉総理がメディアの自主的な解決を待つんだということをして、他にも表明してますしね。そういう点では、今までと違った地盤というか土壌というか、そういうものが出来かかったような気が若干してますけど。まだ、わかりませんけど。

質問：6月人事の目玉と意図を。改めまして今回の人事の狙いといいますか、こういった戦略があるのかということを…

氏家社長：

これはですね、この間の会見でもちょっと申し上げましたとおり全体の流れが、商法改正なんかを見てみましても、アメリカの会社法と、だんだん近くなって来ている。今までの経営は、執行と決定と監査というものが、渾然一体となった取締役会が作っている。そのへんが取締役会のいわゆる、業務監査機能と、決定機能っていうものと、執行機能とを分離させないと経営の透明度が高くないんじゃないかと、まあ、主としてアメリカで起こった考えですね。

質問：分社化ということは？

氏家社長：

それもね、将来はね、一つ考えて行かなきゃいけないと思ってますけど、今のところはね、まだその方向は具体的に考えていません。

質問：機構改革について、社長は経営の透明性というのをおっしゃられてますけれども、決定のスピードアップ、そういったようなメリットというか、それはありますでしょうか？

氏家社長：

非常にあります。それも透明性の中に入っているんですけど。あの、なんとなく訳もわからずに下から積み上げて来て、社長が中身を吟味せずに承認してというのは、一般の日本の企業のありかただったんですよ、割合にね。ところが、それじゃ動きが遅くなりますから、かなりの部分でトップダウンをどんどんやらないと、スピードが間に合わないと思いますんでね。そういう意味でも、決定機関の数は少なく、少数精鋭と言いますかね、そういう形で作られていたほうがやり易いと思いますかね。

質問：次期社長に代表権がないが？

氏家社長：

代表権というのは、商法で規定されているのは裁判その他、対外的な、社を代表して体外的な業務を執行するということだけなんです。つまりね、非常にぐだいて言うとな、社を代表して裁判なんかについての判を押せるということだけなんです。そういう、権利なんです。だから代表権があるなしは、対外的な取締役としての機能には、あま

り関係無いんです。

質問 :この件で萩原さんに聞きたいんですけど、実際上は取締役会の中で社長が代表権を持っていないと、なかなか独自色を打ち出しにくいんじゃないですか。

萩原専務 :

今回の制度は、今社長がおっしゃったとおり、取締役会が戦略の決定、方針の決定をして、その方針にのっとって、私が執行の責任をもつというのが、今回の制度の一番簡単に言えばそういうことです。方針決定、あるいは監視機能 等々の取締役会について、私も当然参加しているわけですから。私は社長というのは執行責任者だと思っておりますから、何の矛盾も感じません。

質問 : 決算の評価と今後の見通しについて。

氏家社長 :

非常にいい決算がおかげさまで出たと思います。東京キー局の中では財務内容も圧倒的にいいと思います。ただ、今後の見通しなんですけど、7月がどうなるかが、下期につながる景気判断にもなるかと思って、重要視しているんです。しかし、仮にもしこれがこれから12月までどっと出てくるようなことがあれば、私は下半期は去年並以上でいけるかなって気がしています。

質問 :視聴率についてなんですけど、巨人戦の視聴率が、大リーグ人気におされてか、振るわない時期があったんですけど、いったいどうご覧になっていますか。

萩原専務 :

巨人戦の視聴率に関しましては、日本テレビの中継が、現時点で27試合で17.2%ということで、昨年に比べてマイナスの3.9%。まあ、全局平均にしましてもマイナスの3.9%ということで、たしかに例年に比べてというか、昨年に比べても少し低めが出ているということは事実です。

その、巨人戦の視聴率というのは、非常に波の大きなところがございまして、その1

年の中でも時期によって、非常に高くなる時、低くなる時、それから暦年の流れの中でもある。これ私共が演出してつくるバラエティーとかドラマと違うものですから、かなり、試合展開とかペナントレースの展開とかいうものは、我々にはどうにも手をつけられない部分もありますしね。

ただ、今までのことで言うならば、例年に比べて、私の経験測から言って、そのいい時と悪い時の差が激しいな、下限が 11.いくつという数字がまあ、時々出るわけですが、こういう数字は今まで、今の時期にあんまりでなかったことは確かですね。じゃあ、それはどうしてか、いろんな事をおっしゃるかたがいますけれども、そういう試合は大敗なんですよね、みんなジャイアンツが。

例えば、17 対 0 で負けたとか、例年あんまりそういう負け方しないなという試合も今年はあるんですね。

そういう試合がやっぱり数字が来ないというようなことで、実際には 17.2%というのは私共の平均の視聴率ですが、この中に 11% 台の試合が、たしか 3 試合くらい入っているでしょう。3 試合 11% 台が入っているということですから、11% があるとそうとう足をひっぱりますよね、27 試合中、3 試合が 11% 台ですから。17.2% という数字がそのまんま、受け取るかどうかということは、言えると思いますね。

ただ、勝ち負けによって非常にその、数字の振幅が大きいということは、今年の特徴としていえるかもしれませんね。

質問 試合運びについて、長嶋監督に何か御注文されたことはありますか？

氏家社長：

大敗されると視聴率が落ちるから、茂雄ちゃんなんかして「れないかな」なんて冗談言ってたの。そしたら彼が「投手力だね、投手力が弱い」ということが起こるんですよ。」

ただ、打力があるから。打線だけは V 9 時代の最盛期より強いって言ってたね。これは江川君も言ってたからそうなんだろうね。このあいだ、江川君に投手哲学というのを聞いたのよ、なるほどと思って聞いてたね。

質問 :ピッチャーちょっといいのを取って「れとか…。

氏家社長：

いいのいるんだよね。それがどうも機能しないところが、もったいないんだなこれが。入来みたいのはね、初め計算にはいってなかったからさ。ああいうケースがたくさん出てくれば言い訳だよ。

質問 続けて5月の視聴率を振り返って。

萩原専務：

4月スタートのドラマについては土曜日の「明日があるさ」が、いい数字が出てまして、新・星の金貨」もそこそこの数字が取れています。それから、他局さんはバラエティーが非常に苦戦しているんですけども、私どもの世界仰天ニュースは平均で16%、最高で17%という数字を出しておりますし、木曜日の「モー大変でした」も一応二桁で来ているというようなことで、4月改編のレギュラー番組に関しましてはドラマも含めて、とりあえず頑張っているかなという感じです。

1 - 3月はたしかにやや追い上げられたような形になりましたけれど、あれもドラマの差だけですから、そんなに心配はしていませんでした。

まあ、やっぱり巨人戦がね、さっき申し上げた通り、しり上がりの11年になってくれることが一番望ましいですね。

質問 :巨人戦の視聴率なんですが、大リーグの影響についてはどのようにお考えですか？

萩原専務：

イチロ や新庄の試合の数字がどうのという、食われ方はほとんど無い。ほとんどがBSですし、しかも平日の朝ですから。ただ、あれだけ、みなさんも書き立ててるし、テレビでも项目的に言えば大リーグのほうが先にやるような、状況ということによって、日本のプロ野球に対する、関心がいささか影響を受けていないとは言いきれないと思います。

裏番組として、食われているとか食われていないとかいう問題ではなくて。なんかこう関心度というか。今年は関心度の意味で刺激を受けているかもしれませんが、来年もこのままずっと大リーグの話題で、プロ野球がおかしくなるかといったら、そこまでは行かないんじゃないかなと思います。

裏番組として大リーグ中継が恐くなるのは、どうなんですかね、時差の問題とかいろいろありますから、直接視聴率の食い合いになるような競争には、なりにくいと思います。

社長 :今のところは相乗効果があると、僕は見てますけどね。

質問 :ソニーが、インターネットベースでベイスターズの中継やりますよね、将来的にテレビへの影響は。

氏家社長：

その問題はねいわゆる野球中継だけの問題じゃなくて、テレビとインターネット放送の関係なんですよ。これはね、やはりどういうルールを作るかということ、早急に進めたほうがいいかと思って。そこまで、来ますと業界同士の話し合いということではなくて、結局総務省を中心とする、政府政策ってことが出てきますから。

今政府の中でも、研究はしてますけど、そういう形でトータルな、政府政策ベースの話し合いが、起こってくると思います。

質問：BSの普及が、どうも思うように行かないという評価が。

氏家社長：

昨日もね、海老沢君と話していたんだけど、彼はね、2月くらい前かな「1000 日 1000 万台」って言ってたでしょ、それを「1200 万台に変えようかと思うんだけど、どうだろう？」って言ってきたことがあるんだよ。「いいじゃない、景気がいい話で」思ってたら、突然風がぱたっととまっちゃったんだよ。大変な危機なんて言い出したんだよ。

昨日もその話したんだけど、機器が高いと。

これはまあ、彼から聞いた話ですから伝聞ですから、この場だけの話でしょうけども、強力に機器メーカーに話し進めるって言ってましたよ。

だから俺らも一緒にやろうと、いう話しましてね。また、場合によっては、連名で2人を出してますから、放送協会会長と民間放送連盟会長って。2つ並べていろいろ要求書や陳情書をいろんなことやることありますからね。

質問：BSデジタルについてはハードの普及がネックになっているということですが、ソフト面ではどうですか？番組内容とか。

氏家社長：

うちだけはまあ、わりあいとユニークだと思いますけど、各社ね、地上波をそのまま、縮小再生産して乗っけたみたいなものやってるわけ、いわゆる総合編成というやつ。あれでは、ちょっとね、上手くないんじゃないかな、と思って。あれを少し変えたほうがいいかもしれませんね。それぞれ、どこに特化するかということが大切でね。

質問：110°CSなんですけども、だいぶ出揃ってきて、プラットフォームさんの現状を

氏家社長：

スカパーはプラットフォームと委託放送業者、トータルで3000 億程度の累積があるだ

ろうって言われているんですね。それが、正確な数字かわかりませんが、これをね、取り返すということは、大変なことです。今みたいにコストかかるやり方でいいのかって問題があるんですよ。

我々としてはできるだけコストがかからないやりかた。で、それこそ、番組自身も非常に特化したCSらしいやりかた。これをもっていけばまあまあ行けるかなって、いう感じを持っています。久保君が中心になって、三菱商事さんとか関係各社と相談しながら、WOWOWさんとか、その具体案を詰めているところです。ただ、まあ、その中味はまだ申し上げられないかもしれません。やっぱり企業秘密みたいなところも、ありますからね。久保君なんかありますか？

久保メディア戦略局長：

今何をやっているかという、株式会社プラット・ワン明日臨時株主総会を開いて、常勤役員の変更、増員をはかりますが。今やっていることは、きちんとしたオフィスを探すことです。今、三菱商事さんの別館に間借りしてますけれど、間もなくそこに引越しをしますけれど。私どもとしては、プラット・ワンの三菱商事出身の片岡社長にですね、是非、新聞各社のみなさんにも積極的に会っていただいて、どういふことを今考えているのか、こうやっているのか、みなさんとお話をさせていただくと思います。

以上